

おし図書館 No.155

発行 青木和子
代表 青木和子
〒104-4116 東京都中央区本町1-10-416
TEL 047-311-0886

図書館友の会全国連絡会
(以下図友連)

第六回総会

報告 青木 和子

5月22日(土)11時~5時 秋田本
図書館協会研修室において開催さ
れ、27団体37名が参加しました。

総会に先立ち、故菅原峻さん・
図友連へ多額の寄付をされた匿名
の方・東日本大震災被災者の方々
への黙禱を捧げました。

2011年度の活動報告・会計報告・
会計監査報告・会則改正案が、い
ずれも拍子で承認され、会則改正

により、会計監査は運営全体に係
わる「監事」となりました。
続いて、役員選任・2012年度活動
方針案・予算案が承認されました。

次に「私たちの図書館宣言」

の改訂案が承認されました。宣
言作成にあたり、取りまどのに
尽力された草谷桂子さんをはじめ
めとする策定委員の方々に感謝
申し上げます。(※千原に掲載)

「私たちの図書館宣言」に
よる図書館評価「試案」につい
ては、一律に確定するものではな
いが、評価プロジェクトが全国
からの意見を集約し、2012年度試
案としてまとめ、7月初めには
CD-ROMの制作販売を開始するこ
とが承認されました。

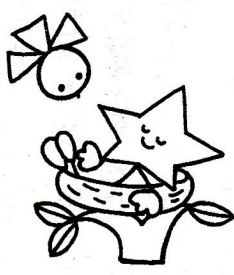
続いて自由討論が行われ、
各地の活動や図書館の状況が報
告されました。(青木は総会のみ参加)
22日午前、会員6名が総務審

福田昭夫総務大臣政務官と文部科
学省高井美穂副大臣に「公立圖書
館・学校図書館の振興を求めらる要望
書(賛同団体5)を手渡し、懇談。

(※要望書の内容を知りたい
方は青木までご連絡下さい)

23日午前、会員20名が手分けし
て、11名の国会議員と議員会館事
務所に訪ねて要望書を手渡し、午
後からの院内集会への参加を呼び
かけました。

23日11時25時、衆議院第2講
員会館第6会議室において、院内
集会「図書館の振興と発展をめざ
す懇談会」と開催。「震災と圖書
館」東日本大震災から学ぶ」との
テーマで、被災地からの報告とシ
ンポジウムが行われました。



千葉県内図書館関係 市民団体連絡会

報告 青木 和子

6月23日(日)、市原市立中央図書館で交流会が開催され、5団体(市原・浦安・君津・千葉・松戸)11名が参加。担当は市原文連でした。前半は「公立図書館の財政」と題する講演。講師は岡野正人さん(君津市立中央図書館協議会委員長・元講演内容(レジュメより)は

①公立図書館の予算はどのようになつてゐるか ②千葉県内の公立図書館予算の具体例を抜粋して ③図書館の財政効果 ④図書館を発展させる財政

青木は残念ながら講演会には不参加でした。

後半は各団体からの活動報告など。市原：市の人材バンクが図書館の読書ボランティア募集開始。

「ブックスタート・おはなし会・対面朗読・蔵書整理・各種イベントのキッズ等」

浦安：友の会とは何ぞや？と考へながら活動を続けています。図書館の「お手伝い」はしな
いが、ブックスタート本の包装のみ手伝つてゐる。市へのロビー活動を続けてゐる。相互貸出をしている明海大学図書館見学ツアー開催。友の会20周年記念の会を開催予定。
君津：代表が交代した。図書館の「お手伝い」はしない。市への要望書提出で、市民の立場から図書館について提言。10周年記念の会を開催予定。
千葉：総会に市立中央図書館長が出席。昨年度の古本市で集まった寄付は、図書館を通じて市の財政調整基金に寄付。市原の予算削減のため、学校図書館司書減員。学校図書館に

新聞を置くようになった。

松戸：念願の茨城県水海道市現常統市(図書館見学)を行った。松戸の図書館には、未だに会議室なども無い。市内の多くの市民団体共催で、10年目を迎えた「憲法記念日の集い」には、大江健三郎さんの講演会を開催した。

次回は、2013年1月末に千葉市で開催の予定です。



Help-Toshokan
「東北を知る」
「宮城県を巡る2泊3日」
に参加して
報告 青木 和子

2012年3月2日(金)〜4日(日)、本図書館協会東日本大震災対策委員会企画のツアーに参加しました。

日本図書館協会は、昨年3月11日の大震災以降、岩手・宮城・福島・茨城を中心に、被災地の図書館の復興と再建を支援する活動を国内外の図書館界の協力を得て、行ってまいりました。

これまでの活動に加えて、図書館関係者以外にも幅広く呼びかけ、復興に取り組む現地の様子を実際に見聞する事で、今後の活動につなげたいとの願いから、宮城県内の図書館のツアールを得て、このツアールが企画されました。

見学させて頂いた図書館は、仙台市の宮城県立図書館・登米市^{トウメ}立図書館・気仙沼市気仙沼図書館・南三陸町図書館・石巻市図書館、名取市図書館でした。

南三陸町図書館は、壊滅。高台に建てたプレハブの仮設図書館で開館していました。

その他の図書館は、建物はどうにか残っていましたが、そのまま

で使える状態ではありません。

頑丈な宮城県立図書館でさえ、書架・書棚類の転倒・損壊は勿論のこと、一部地盤沈下や崩落、建物や設備の破損など、当時の写真を見るだけでも、そのすさまじさが伝わってまいりました。

県立図書館では、今後の災害対策に役立てるためにも、県内市町村図書館の被災状況や復興状況などを整理して発刊予定とのことでした。

各図書館は、建物や設備の破損、書架等の転倒・損壊などがひどくても、建物本体は本の重量に耐えられる頑丈な造りなので、震災直後は使える部分は避難所として使われていました。そして、身近に「本」があることは、被災者の方々の心のケアに役立ったようです。

今年3月の時点では、完全に復旧している館はありません

したが、全国各地の図書館からの支援を受け、借り受けた移動図書館車で巡回するなどして住民サービスを再開している、その精一杯の努力に頭が下がるとともに、過酷な状況の中で図書館の果たす役割の大きさを痛感しました。

図書館以外にも、このツアールで見聞した光景は折に触れて思い出され、忘れられません。

海まで続く広大な更地、常盤線の線路や駅舎の跡と思われる残骸、分別され積み上げられたガレキの山々、等々、忘れてはいけなさと思っています。

被災地の一日もはやい復興を、そして、被災した方々がご健勝にて過ごされますようにと、心からお祈り申し上げます。



わたくし としょかんせんげん
私たちの図書館宣言

としょかん じんるい えいち ほうこ
 図書館は人類の叡智の宝庫です。

よ しら まな こうりゆう ひつよう じょうほう え きょういくきかん
 読み、調べ、学び、交流し、必要な情報が得られる教育機関として、

わたくし じりつ ちいきしゃかい はってん しせつ
 私たちの自立と地域社会の発展になくてはならない施設です。

わたくし としょかん すがた かか
 私たちは、ここに図書館のあるべき姿を掲げます。

- 一 し じゆう まな けんり ほしろう としょかん
 知る自由と学ぶ権利を保障する図書館
- 二 だれ みちか むりよう りよう としょかん
 いつでも、どこでも、誰でも、身近に無料で利用できる図書館
- 三 しりょう じょうほう ほうふ しゅうしゅう せいり ほぞん ていきょう としょかん
 資料・情報が豊富に収集・整理・保存・提供されている図書館
- 四 ししよしよくせいど かくりつ けいけん つ かんちよう しょくいん としょかん
 司書職制度が確立され、経験を積んだ館長と職員がいる図書館
- 五 りようしゃ まも としょかん
 利用者のプライバシーを守る図書館
- 六 じょうほうこうかい みんい もと としょかんきょうぎかい きのう としょかん
 情報公開と民意に基づく図書館協議会が機能する図書館
- 七 きょういくいいんかい せきになん せっち ちやくせつ かんりうんえい としょかん
 教育委員会の責任で設置し、直接、管理運営される図書館

わたくし じつげん としょかん ささ まも ひと て
 私たちは、この実現のために、図書館を支え、守り、すべての人と手をつなぎ、

としょかん せいちよう せんげん
 図書館とともに成長することを宣言します。

としょかんととも かいぜんこくれんらくかい
図書館友の会全国連絡会

2009.5.25 総会決議

2012.5.22 総会改訂